

各 位

2022年7月13日



会 社 名 株式会社ノダ
代表者名 代表取締役社長 野田 励
(コード番号7879 東証スタンダード)
問合せ先 取締役総務部長 良知 正啓
(TEL 03-5687-6222)

業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年11月期通期連結業績予想並びに2022年5月31日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）及び2022年11月期の期末配当予想について、下記の通り決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

・2022年11月期通期連結業績予想数値の修正（2021年12月1日～2022年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2022年1月17日発表）	百万円 70,000	百万円 4,700	百万円 5,000	百万円 2,900	円 銭 178.08
今回修正予想（B）	79,500	9,100	9,500	5,600	343.87
増減額（B）－（A）	9,500	4,400	4,500	2,700	
増減率（%）	13.6	93.6	90.0	93.1	
（ご参考）前期実績 （2021年11月期）	64,586	3,829	4,243	2,535	155.69

〔修正の理由〕

通期の見通しにつきましては、2021年秋の住宅ローン減税契約期限到来に伴う駆け込み需要の収束や、資材価格高騰による住宅価格の上昇により、住宅需要の減速が懸念されます。また、世界の木材需給は足元で調整局面に入るなか、国内でも輸入合板の港頭在庫が増加傾向となるなど需給緩和の動きが見られており、合板相場は、本年秋口には調整局面に入ることが予想されます。

このような状況において、当社グループは引き続き原材料の確保と製品の安定供給に取り組み、収益の確保に努めます。

なお、これらの見通し及び本日公表した「2022年11月期 第2四半期決算短信」に記載されている当第2四半期累計期間の連結業績を踏まえ、上記の通り通期の連結業績予想を修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

・剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年1月17日公表)	前期実績 (2021年11月期)
基準日	2022年5月31日	同左	2021年5月31日
1株当たり配当金	30円00銭	18円00銭	12円50銭
配当金総額	488百万円	—	203百万円
効力発生日	2022年8月16日	—	2021年8月17日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

・期末配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2022年1月17日公表)	18円00銭	18円00銭	36円00銭
今回修正予想		30円00銭	60円00銭
当期実績	30円00銭		
(ご参考) 前期実績 (2021年11月期)	12円50銭	19円50銭	32円00銭

〔修正の理由〕

当社の利益配分に関する基本方針は、業績の状況及び配当と内部留保のバランスに配慮しながら、配当の安定性を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行うこととあります。また、内部留保金につきましては、財務基盤の充実強化並びに今後の事業展開に役立てていく考えであります。

この基本方針並びに上記の業績予想を勘案し、2022年11月期の中間配当を前回予想から12円増配の1株当たり30円とする旨、本日開催の取締役会において決議いたしました。

また、期末配当予想につきましても、前回予想から12円増配の1株当たり30円に修正いたします。

以上

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。